

帰依住職の

イツペー

チビラーサン

▶ 8

沖繩の年中行事

ムーチー

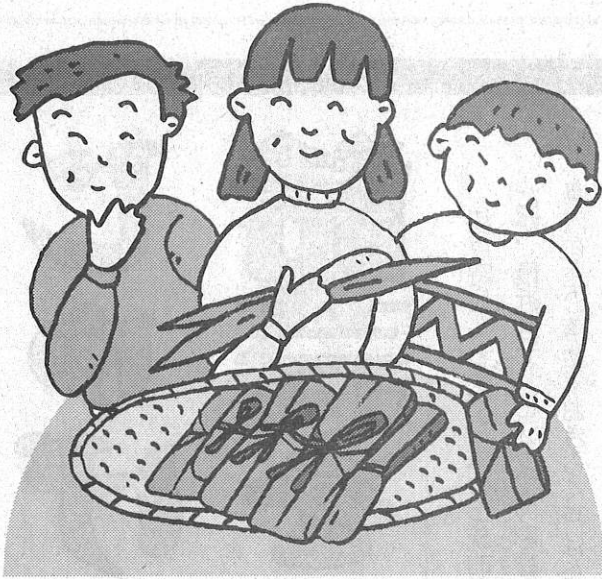
ハイサイ！ 旧暦の12

月になりますと、気候も冬の様相を増してきますが、このころの寒さのことをムーチービス（鬼餅寒さ）と呼んでいます。

旧暦12月8日には、沖縄県内各地や保育園・幼稚園でも、盛んにムーチー（鬼餅）が作られることでしょう。

ムーチーとは、お餅を作る粉に黒糖などを混ぜて練り上げ、サンニン（月桃）の葉でキレイに包み、蒸して作られたお餅のことです。子どもたちの健康を願う意味で作られるムーチー

# 子どもたちの健康願う



は、子どもの年齢の数だけひもで結んで天井からつり下げたり、ムーチーを蒸した時に出る汁を玄関や住宅の四隅にまいたりして、子どもを食べに来るといって鬼を追いかける意味があると

いわれています。二十四節気という中国の考え方では、ムーチーのころを小寒・大寒と呼んで、一年中で一番寒い季節としています。「鬼を追いかける」とたとえられています

すが、ムーチーは寒さの中でも風邪をひかないように、子どもたちが元気に暮らせるようにとの家族の温かい思いからきている沖縄の年中行事なのかもしれません。

イツペー チビラーサン（とても素晴らしいですね）！

先日、私が教えている高校で、授業中にムーチーの年中行事についてお話をさせていただきました。私どうしてムーチーと呼ばれる

か知っている人？」。A子さん「お餅のことを、沖縄ではムーチーと言うからでしょう」。B夫君「あらん、鬼をやっつけるのにムチを使うからだよ！」。C夫君「自分も、そのムチの話をだれかから聞いたことがある」。ものの2-3分の間に、ムーチーの意味がトンでもない方向に進んでしまいました。

正しくは、Aさんの意見。でも、B夫君とC夫君が発言してくれたことはとても大切だと思います。まずは、沖縄の年中行事に興味を持つことが、いのちの大切さを学ぶ上で一番必要なことではないかと、私は考えています。  
(帰依龍照球陽寺住職、タイムスカルチャーセンター「基礎から学ぶ沖縄の年中行事」講師)